

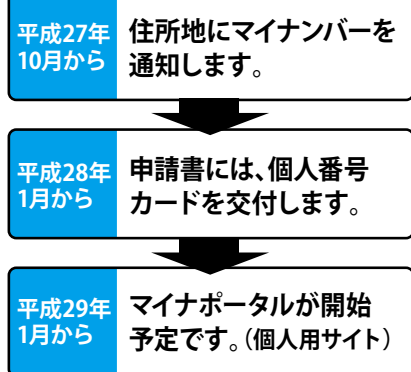


赤嶺 雅和 議員

マイナンバー制度を問う

答 もろもろの課題があるので、国会でも先送りになっている

マイナンバー導入のスケジュール



総務部長 この番号から芋づる式に全部のデータが下がってくるものではない。社会保障や税務情報は所管が保持している。もろもろの課題があるので国会でも法案が先送りになっている。

問 マイナンバー制度で情報流出が心配されるがどう考えるか。

総務部長 住民票コードとは住民基本情報という利用目的の特定のための番号である。マイナンバーは利用が断定されていないが個人に全部振られる。

待機児童解消に向けた対策は

問 待機児童解消に向けて本町の対策はどうか

副町長 平成27年3月に策定した南風原町子ども・子育て支援事業計画の5カ年計画で取り組んでいく。さらに、27年度から3カ年間で待機児童ゼロに向けて各種施策を進める。

問 具体的な施策はあるか。

こども課長 平成27年度にさくら保育園の増園、認可外保育園1カ所の認可化、さらに1園認可保育園の分園を進めている。教育委員会は平成28年4月に幼稚園の4歳児受入を進めている。平成28、29年度には小規模保育所、認可保育園の創設が1カ所、既存の認可保育園の改築が1カ所など3カ年で待機児童ゼロにする計画である。

少子化にどう取り組むか

問 少子化対策について本町の対策は。

副町長 少子化対策基本法に基づき、少子化社会対策大綱が閣議決定された。結婚、妊娠、子ども子育てに温かい社会を実現することが明記されている。本町は「子どもが育つ喜び、育てる喜び」を掲げ南風原町子ども子育て支援事業計画に沿って事業を進めていく。

問 具体的にどういった内容の施策か。

民生部長 安心して子どもを生み育てやすい環境を整えていくこと。集い・交流によっての子育て支援の充実、地域での子育てネットワークの構築、あるいは子育てに関する情報提供を充実、子どものセーフティネット(経済的負担軽減継続)に取り組んでいく。